

(様式第4号)

塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	(平成27年度)第1回 塩田地域協議会
2 日時	平成27年4月16日(木) 午後1時30分から午後3時まで
3 会場	塩田公民館 大ホール
4 出席者	南雲会長、片桐副会長、工藤委員、窪田富委員、窪田八委員、甲田委員、坂田委員、竹内委員、西川委員、西澤委員、早坂委員、林委員、増澤委員、松崎委員、水野委員、山極郁委員、山極一委員、山部委員 合計18名
5 市側出席者	塩田地域自治センター；海瀬 センター長、土屋 地域振興政策幹、堀内 係長 佐藤 地域担当職員
6 公開・非公開	(公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0 人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成27年4月17日
協 議 事 項 等	
1 開 会 (副会長)	
2 あいさつ (会長)	
(事務局)	職員紹介
3 協議事項	
(1) わがまち魅力アップ応援事業採択状況について	
(事務局)	平成27年度事業の審査結果について資料にて説明。
(2) 専門委員会からの報告	
(地域振興委員長)	「第3回ため池フェスティバル」及び「県内のため池100選に選定されている地区の現地研修(意見交換)」について資料に基づき報告。
(地域福祉委員長)	福祉ネットワークについて報告。
(安全安心委員長)	空家等対策の推進に関する特別措置法案の概要について資料にて説明。
(会長)	市議会でも取り上げられたのではないか。
(事務局)	飯山市のように条例を作るという方向性は決まっている。市議会でも課題となっている。政策企画課、シティプロモーション推進室等、様々な部署が関わっている。動きがあればお知らせする。
(3) その他について	
(事務局)	市民参加・協働推進課作成資料により「地域内分権の確立に向けた考え方」について説明。
(委員)	経営会議を作る時期はいつか。
(事務局)	平成27年度中であれば具合がよいが、あくまで目標である。
(委員)	順次、未着手の地域もやっていくのか。塩田はモデルとなるのか。
(事務局)	現在、6地域が未着手である。将来的には9つの地域全部が取り組むことになる。中央、西部などの3地域が最後まで着手が難しいと考えられる。
(委員)	再来年の3月までに3地域も着手するのか。
(事務局)	それが理想ではある。
(委員)	地域協議会は存続するのか。
(事務局)	住民自治組織が設立され、発展的解消となる可能性もある。
(委員)	平成32年までどのように進められるのか。
(事務局)	何らかの形で動いていくことが目標となる。
(委員)	自治会もあれば女性団体もある。協議の場はどういう場を考えているか。
(事務局)	具体的に決まっていない。具体的には決まっていない。先行した3地域の例では、住民説明会、自治会連合会等、様々な取組みの中で3月に設立となった。
4 その他	
(事務局)	通常では次回協議会は5月21日頃に開催されるが、5月19日に「県内のため池100選に選定されている地区の現地研修(意見交換)」が予定されていることから、現地研修を5月の協議会に振り替えることにしてはどうか。
(委員)	異議なし。
5 閉 会	
	以上確認の上、午後3時00分閉会した。